

「江戸外絵図」の相次ぐ刊行



「新板江戸外絵図 赤坂・麻布・芝筋・渋谷・青山・三田」 東京都公文書館所蔵

寛文10年（1670）に江戸の中心部を「新板江戸大絵図」として刊行した遠近道印は、刊記にも明らかにしていたように、東西南北の周辺についても実測図「新板江戸外絵図」を刊行していきました。

寛文11年4月：本庄・深川・浅草

寛文11年11月：浅草・下谷・上野・谷中・湯島・本郷・
小石川・駒込・染井迄

寛文12年閏6月：小日向・牛込・一谷・四谷・高田・大久保・
内藤宿迄

寛文13年2月：赤坂・麻布・芝筋・渋谷・青山・三田

拡張を遂げた都市江戸全域を捉えた、実測江戸図の基礎がここに打ち立てられたことになります。